

BRAKING®

POWER UNDER CONTROL

ディスクローター & キャリパー

DISK ROTOR & CALIPER

BRAKING取扱い説明書

＜共通注意事項＞

重要保安部品です。整備資格を持った方に作業をお願いして下さい。

- 作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行って下さい。
- この商品は記載されている適合車種以外の車輛には使用しないで下さい。
- 取り付けは、設備の整ったオートバイ店や、認証整備工場等で専門教育を受けた整備士に作業を依頼して下さい。
- 取り付けは、確実に行って下さい。また、走行中にネジ部等緩む事が無いように、所定トルクにて確実に締め付けて下さい。
- 取り付け後、約100km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増し締めを行って下さい。その後は、約500km毎に必ず点検し、同様の増し締めを行って下さい。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車輛を安全な場所に停車させ、異常個所の点検を行って下さい。
- 作業に当たっては純正サービスマニュアルをチェックしながら純正部品の取り外し取り付けについては指示に従って下さい。
- この商品や文中に紹介した商品は予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。予めご了承下さい。

この度は「BRAKING製品」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には必ずこの取扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付けの前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。なお、万一お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談下さい。

2004/08/04

取扱い説明書

※取り付け前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。
※この取扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。
※この商品もしくはこの商品を取り付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱い説明書も併せてお渡し下さい。

DAYTONA®
BRAKING共通説明書①/⑥

1 STX(WAVE)/ハイスタンダードディスクローター 取扱い上のご注意

- ディスクローターは使用目的、環境にあった物をご使用下さい。
- ディスクローターの交換は、整備士の資格を持った方が作業を行って下さい。
- キャリパーとディスクローター中心線（ディスク厚の中心）が同一線上になるのが理想ですが、新車や中古車、事故車を問わず、部品の個体差（公差）等の問題で、純正部品同士でもセンターがズれている場合があります。センターのズレはローターがパッドに接触して引き摺ったり、ローターがキャリパーに接触していなければ問題ありません。ただし本来のブレーキ性能を引き出す為にはセンターになるように調整する必要があります。ディスクローターに対してキャリパーの中心線が外側にズれている場合はシムで調整する事が可能です。シムを使用しても大幅にセンターからズれている場合は各製品の公差の問題以外にも様々な要因が考えられます。ご使用前にお買い求めになられた販売店にて点検を行って下さい。
- ※ディスタンスカラー（アクスルシャフト外側）の磨耗等でズレてしまう事があります。この場合は新品に交換して下さい。
- ディスクローター表面に錆び防止のオイルが付着している場合は確実にクリーナー等で脱脂して下さい。
- ディスクローター交換の際は、必ずブレーキパッドも新品交換して下さい。本来の性能が発揮できません。
- ※交換の際は当社製シンタードパッド「ゴールデンパッド」をお勧め致します。※使用するブレーキパッドのメーカー及び種類、ライダーの感性等によってブレーキフィーリングは変化します。使用目的に合わせてご用意下さい。
- ディスクローターの使用限界は未使用の状態から-0.5ミリまでです。それをこえてご使用になりますと大変危険ですので早急に新しい物に交換して下さい。
- この商品を使用する際は純正キャリパーがBRAKING製、又は当社取扱いのNISSIN製キャリパーをご使用下さい。上記キャリパー以外をご使用した際の不具合に関してのクレーム及びそれに関わるご請求関連は一切お受けできませんので予めご了承下さい。
- 【OKIシリーズ&オフロード専用ディスクローター】
- OKIシリーズやオフロード専用ローターはオフロード専用設計で作られています。一般公道のアスファルト路面また、スーパーバイカーズのロードレースでは熱的許容範囲を超えてしまい変形、歪みの原因になる恐れがありますので絶対に使用しないで下さい。※ストリート用OKIは除きます。

2004/08/04

2 キャリパー 取り扱い上のご注意

- ブレーキフルードは必ず新品（DOT4）を用意し、異なるグレードを混入して使用しないで下さい。また、取り扱いには充分にご注意して下さい。ブレーキフルードが塗装面に付着すると塗装剥離及び変色等を起こします。万一付着した場合には、すぐに水か脱脂洗剤で洗い流して下さい。
- 付属パッドは角を削り落としたりして、使用しないで下さい。周動面が変わり本来のブレーキ性能が発揮できなくなり、重大な事故に繋がる可能性があります。
- キャリパーは純正ローターまたはBRAKINGローターを基準に作られています。これ以外のローターを使用した際の不具合に関してのクレーム及び、それに関わるご請求関連は一切お受けできませんので予めご了承下さい。

＜スーパーモタードキャリパー＞＜フロント用＞

- 必ずSTXスーパーモタード用ディスクローターと17インチホイールをセットで装着して下さい。17インチホイール以外はスポークとキャリパーが干渉する場合があります。又、センター出しはスラスト方向に対する有効幅が7mmしかないためクリアランスの確保は慎重に行ってください。
- 推奨マスターサイズは14mm相当になりますが好みで1/2インチ又はブレンボ13mmをご選択下さい。
- 純正のブレーキホースを取り付ける事は出来ません。ご使用になるハンドル及び、マスターシリンダー等に合わせ探して下さい。

※C43321キャリパーやC4221キャリパーは適合が外車のみのためバンジョーボルトM10xP1.0を使用します。それ以外はM10xP1.25となります。

＜リヤキャリパー＞

- この商品は純正のホイール、スイングアーム、ステップ、ローター又はBRAKING製ローターを基準に作られています。社外製のパーツを装着した際の不具合は保証の対象外となります。ご了承下さい。
- 純正のブレーキホースでも使用可能です。ただしブレーキホースの長さ足りない場合は市販のブレーキホース等を探してからお選び下さい。

＜特徴＞

- スーパーモタードキャリパーはSTXオーバーサイズディスクローター（Φ320）専用キャリパーです。ノーマルフロントフォークにボルトオン装着可能です。

＜商品内容＞

NO.	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	キャリパーASSY	φ36 x φ32	1

2004/08/04

●キャリパー取り付け上の要点●

- ボトムケース取り付け部分やボルト、キャリパー及びサポートの面接触部分に異物等の噛み込み等がないか確認して下さい。
※組み付ける前には新品でも必ず各部品の洗浄等行って下さい。
- キャリパーがディスクローターの中心線上から極端にズレていないか確認して下さい。
※ブレーキパッドを外してキャリパーを組み付け、位置を確認して下さい。
※ディスタンスカラーの磨耗等でズレてしまう事があります。この場合は新品に交換する事をお勧めします。
- ディスクローターが、歪みや変形、横振れ等を起こしていないか確認して下さい。
※フロント（またはリヤ）を浮かせた状態でホイールを回し、センターの位置が測定場所によって変化したり、ズレていなければ問題ありません。社外ディスクローター等を組み付ける時も取り付けボルトを対角線状態で締め付けていない場合は、場所によってセンターがズれる事があります。
※横振れ、歪みはひどくなるとパッドを押し戻してしまい”ジャダー”（注2）、フェード現象の誘発等、コントロール性に悪影響を与えます。
注2・・・パッドがディスクローターを一定の力で挟む事が出来なくなる為、レバーをゆっくり握り込んでいる時は引張られたり強く握り込んでいる時には、一定の力であっても強く効いたり弱く効いたりを繰り返し、勝手に減速速度を変動させる現象の事。
- ディスクローターが縦振れを起こして、キャリパーの切り欠き部分等と接触していないか確認して下さい。
※横振れほどシビアではありませんので、キャリパー切り欠き部分に接触していなければ許容範囲内となります。
※キャリパーがディスクローターと接触している場合はディスクローターを組み直す（注3）か、キャリパー及びサポートを仮締めにしてクリアランスを再調整して下さい。
注3・・・仮締め時に回転逆方向に回してから対角線上にボルトを本締めする。
- ディスクローターの使用限度の基準値（サービスマニュアル参照/BRAKING製320φは4.5mm）を超えて使用していないか確認して下さい。
※ディスクローターの磨耗を調べる時は、パッドが接触している部分に定規等当てたり直接振れて見て下さい。明らかに隙間があったり、凹凸を感じた場合は、お買い求めになられた販売店等にて点検し、使用限度の基準値を超えている場合は交換して下さい。
- 転倒された車輛や部品（ホイール、アクスルシャフト、フロントフォーク及びボトムケースマウント部等）を使用されている場合、変形やねじれ等を起こしてズレていないか確認して下さい。
※変形、修復不可能な場合は、お買い求めになられた販売店等にて点検、もしくは交換をして下さい。

＜キャリパーのセンター出しについて＞

製造ロットによる部品公差（純正部品を含む）により、ローターに対し、キャリパーの中心線が外側にズレてセンターが出ない事があります。このような場合は、キャリパーセンター出し用シムセット（17X8.1x0.5t/8枚入り）品番（46830）¥1,050で調整して下さい。シムセットを使用しても大幅にセンターからズれている場合は、部品公差の問題以外にも様々な要因が考えられます。ご使用になる前に必ず、お買い求めになられた販売店もしくはSHOPにて点検して下さい。

2004/08/04

＜エア抜き作業の流れ＞

- キャリパーを取り付け、通常のエア抜きを行います。エア抜き作業はサービスマニュアル等を参照して下さい。
※リザーバータンクの蓋は外し、ブレーキフルードはまめに補充しながら作業を行って下さい。
- ある程度当たりが出てきたらキャリパーを車輛より取り外します。キャリパーの奥側にあるピストンを押し込みます。この時バンジョー側手前のピストンは抜け出ないように押さえておきます。次にバンジョー側手前のピストンを押し込みます。この時、奥のピストンが出ないように抑えておきます。こうしてピストンを2個共完全に押し込みます。
- キャリパーをまた取り付けしてエア抜き作業を行い、ピストンを奥から順に押し込む作業を数回繰り返して行って下さい。
- この作業を行iriリザーバータンク側とエアブリーダー側よりエアが完全に出てこなくなったら、ブレーキがしっかりと効いている事を確認して下さい。
- 問題なければキャリパーを組み付け外した部品を元に戻し、安全の確認を行い作業は終了です。
※ブレーキフルードが塗装面等に付着した場合はすぐに、その部分を洗浄して下さい。上記作業でも完全に抜けきらない場合はキャリパーに直接ブレーキフルードを押し込む、又は吸い出すタイプの特殊工具を使用し、エアを完全に抜いて下さい。

△注意

「BRAKINGキャリパー共通」

- エア抜き作業を行いますとエアブリーダーのネジ山やエアブリーダー内部（右図B/C部分）にフルードが残ります。これは構造上エアブローやパーツクリーナー等で洗浄しても完全に抜けない事があります。また、エアブリーダーを必要以上のトルクで締め付けると先端（右図A部分）が潰れてしまう可能性がありますのでご注意ください。
- 「スーパーモタードキャリパー（フロントのみ）」
- エア抜きの際にキャリパー合わせ面の部分にフルードを垂らさない様に気をつけて下さい。垂れたフルードが合わせ面に浸入するとエアブローやパーツクリーナー等で洗浄しても抜け難くフルードの滲みの原因になったりします。ご注意ください作業を行って下さい。
- オイルラインはキャリパーのバンジョー側に1箇所しかありません。バンジョー取り付け部の反対側はエアが抜け難くなっています。しっかりとピストンが動作しエアが抜けている事を確認してから取り付けをして下さい。

※キャリパーを取り付ける際にバンジョーボルトが右図の状態でAの部分の長さが11mmを超える場合はGOODRIDGE製バンジョーボルト（品番34007/価格¥1200）に交換する事をお勧めします。

△参考

＜BRAKING参考、指定トルク＞	サイズ	トルク
キャリパーマウントボルト締め付けトルク		各サービスマニュアル参照
ディスクローターボルト締め付けトルク		各サービスマニュアル参照
エアブリーダー締め付けトルク	M10	1.0～1.5N・m
エアブリーダー締め付けトルク	M8	1.0～1.5N・m
バンジョーボルト締め付けトルク(ハイスタンレス)		1.5～2.0N・m
パッドピンボルト締め付けトルク		1.5～1.8N・m

※装着車輛によっては指定トルクが変わります。純正サービスマニュアルに従って下さい。

2004/08/04

BRAKING®

POWER UNDER CONTROL

ホームページURL <http://www.braking.it>

＜BRAKING総輸入代理店＞ 登録商標 株式会社 **Daytona**

Daytona製品のホームページを開設しております。インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

本社 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

TEL:0538-84-2525 E-mail:bigbike@daytona.co.jp

ホームページURL <http://www.daytona.co.jp>

受付時間:平日9:00～12:00 13:00～18:00
(土、日、祝祭日は休ませていただきます。)

お客様相談窓口 ☎0120-60-4955

Daytona製品についてのご質問、ご連絡はフリーダイヤルで受け付けております。

DAYTONA®

2004/08/04